

# SAYURI NY 進出物語 USHIO

前夜祭

前夜祭にはモモタローNYのサミー社長はじめ、スーザン・ロックフェラーや黒柳徹子のヘアメイクも手掛ける世界的メイクアップ・アーティストの水島祐作、ダウンタウンでメガサロンを展開するニック・アロージョ、それにエドワード・トリコミらも加わった。日本ばかりか、上海からも応援がかけつけた。IBS インターナショナル・ビューティ・ショーに日本人ただ一人参加するトップスタイリスト、Sayuriの大きな飛躍の前に、皆しかし、少し緊張の糸も感じられるパーティだった。

IBS ショー開催

ニューヨーク春の名物の一つ IBS インターナショナル・ビューティ・ショーは毎年3月に行われるが、今年は3月6日から8日、マンハッタン西側に180万スクエアフィート(約51245坪)もの広さを有する「ジェイコブ・ジャビッツ・コンベンションセンター」で開催された。参加者推定6万人の世界最大規模。ショーは展示ブース、メインステージ、セミナーで構成され、展示ブースには毎年約500社が参加、セミナーはそれぞれネイル、製品、ヘアカット、ビジネスらのテーマに分かれて約90クラスが準備される。中でも人気なハンズオン講師に選ばれたのが19名、ヘア技術と最新トレンド講師に20名、この40名が今アメリカを代表する講師ということになる。この40名の中に選ばれることはトップスタイリストの仲間入りというばかりか、セミナー講師としての登壇ともなる為、毎年申し込みが殺到する高い競争率なのだが、日本人講師としてただ1人、Sayuri が選ばれた。メーカー参加の展示ブースに参加した日本人ヘアスタイリストは何人か過去にいたものの、セミナー講師に選ばれた講師は5人といない。

しかも IBS 創立 99 年の歴史の中で、アメリカにまだサロンのない日本人ヘアスタイリストが選ばれたのは彼女がはじめてのことだ。

声が出ない…

ところが初日、あまりの緊張のためか、風邪ぎみだったこともあってか彼女は声を失う。はじめての完全英語でのセミナーということで、パワーポイントのスライドは英語で準備されている。参加者への Sayuri からの言葉も友人のギャリが手伝って英訳されており、その発音練習を昨晩は遅くまでしていた。悔しさが彼女を襲う。急遽司会役のギャリが彼女の言葉をカバーすることになったが、それでも不安はつる。自分が聴えること無しに、果たしてセミナーは成功するのだろうか…。

ところがショーは大成功

さて、今回なみいる候補者から Sayuri を抜擢した教育担当者たちも会場を訪れていた。その中の一人キム・ヘイワードは「Sayuriのアーティスティックな感性は大変優れている。そのうえステップ・ボーン・カットという画期的な技術を体系づけて、美容師たちに実践し易いようにしたことが素晴らしい。きっと人気セミナーとなることを期待している。」と答えた。最初2日はプロ対象90分、3日目は美容学校の学生対象60分デモセミナーとなったが、実際蓋を開けてみると280人の席が設けられた会場は立ち見の人も出て300人以上の人であふれ、参加者は「こんな技術は始めてみる」「素晴らしい」「スピリチュアル」など、ヘアスタイルを作るだけではなく、個性を広げるその手法に口々に感心し、6月からブルックリンでスタートする正式な基礎コースへ

の申し込みが現在殺到している。Sayuri が苦心した英語版スライドは十分に参加者の心に届き、彼女がまだ駆け出しのサロンオーナーだった時代から知っていて、誰より彼女の成長に感心しているギャリの言葉は参加者の心を動かさせたようだ。

洋服を創るように髪を創る

Sayuriの言葉は会場に集まったプロの美容師たちの心に響いた。「洋服を創るように髪を創る。ファッションはデザイナーがデザインし、パタンナーがパターンをつくり、 Cutter が布を切り、縫製者が縫って仕上げる。デザイナー、パタンナー、Cutter、縫製者の5人のスペシャリストの手によって、服が仕上がる。デザインから、仕上げまで全てをひとりの美容師でないとできない職人技術が美容業界である。ステップ・ボーン・カットは削ぎを使わず、ファッションや建築のように「デザインする人(ヘアデザイナー)」、「展開図を書く人(パタンナー)」、「髪を展開図どおりに切る人(ヘアCutter)」とスペシャリストに分ける事が可能である。さらに、顔型を補正する展開図(パターン)をも書く事ができる。これは、どういう意味を美容業界にもたらすのか?美容業界の産業化の2度目の幕開けである。イメージを設計図に変える/設計図は正確なカットを生み出す/正確なカットは感性を高める/完全なる自由を手に入れる」と。初回だった今回のデモセミナーの大成功を目の当たりにした IBS 教育担当者からは、既に次回の6月の27日から29日に開催されるラスベガスショーでのデモセミナー依頼が来ている。とはいえその前に、ステップ・ボーン・カットのアメリカでの拠点となる、ブルックリン・スペースでのアメリカ基礎コースセミナー第一回が6月20日にスタートする予定だ。

Sayuri Ushio の NY 進出物語第 2 弾は、一旦ブルックリンからマンハッタンへと一旦場所を移す。昨年夏に、日系美容室老舗のモモタローNY・サロン、ダウンタウンで4店舗を運営するサイトモコ・サロン、それにNYミルボン社で3度のデモセミナーを行った Sayuri は、友人である青木恵子が名前を聞いたレストラン KOA でニューヨークセミナーツアーを締めくくった。ヘアサロンではなく、レストランでの開催には、もちろん青木の好意ということもあったが、Sayuriのヘアカットが従来のものとは違い、毛髪があちこちに飛び散らないという理由にもよる。デモセミナーの折、彼女はこれを実演してみせるが、モデルにガラスの小さな壺を抱えてもらい、切る回数を数えながら、切った髪を中にいれていくのだ。髪は一束づつ壺に取まっていくため、全くモデルの顔にも、服にも飛び散らない。一つの箇所は2度と切らない、無駄なカットはしない、ステップ・ボーン・カット技術が独特のものであることが、これで証明できる。切った髪が残らないので、極端に言えばシャンプーで取り除くこともいらぬのだ。そんなステップ・ボーン・カットの大ファンとなった青木は、快く Sayuri のプロモーションビデオにも参加したが、今回インターナショナル・ビューティ・ショーという晴れ舞台の前夜祭も、この想い出深い KOA で行われた。



毎年6万人が世界中から集まる、世界最大の美容ショーIBS。

288席ある会場が立ち見の人たちであふれ、会場は熱気につつまれた。

20年来の友人、ギャリとブルックリン・スペースで語るSayuri。

ジェイコブ・ジャビッツ・コンベンションセンターは巨大開発プロジェクトが進むハドソン川沿いに、34丁目から38丁目、4ブロック分もの広さがある。

KOA (Kaito Ono Aoki) レストランで Sayuri と Galley。KOA CEO である青木恵子と Sayuri と Galley。

写真提供 = SAYURI USHIO

- 牛尾早百合 受賞歴
- TADA PHOTO COLLECTION 2000 グランプリ
- JHA 2000 (ジャパン・ヘアドレッシング・アワード) 関西エリアファイナリスト
- JHA 2001 ライジングスターファイナリスト
- Milbon Photo Collection 2001 「カバー賞」「デザイナー賞」2部門同時受賞
- ARIMINO Photo Collection 2003 最終ノミネート
- JHA 2003 近畿エリアファイナリスト
- ARIMINO Photo Collection 2005 最終ノミネート

Sayuri からのコメント

ステップ・ボーン・カットを公開してヘアマジックと呼ばれた時は嬉しかったです。ステップ・ボーン・カットは洋服を作るようにヘアを作るヘアカットシステムですが、骨格も、肌の色も、髪質も、好みも違う中で、会場が満杯になり共感し喝采を浴びたことは、私の力ではなく、このカット技法自体が人を美しくする原則に合っていたということではないでしょうか?皆様の応援 感謝いたします。